



# 特集 未来につなぐ 25年の絆

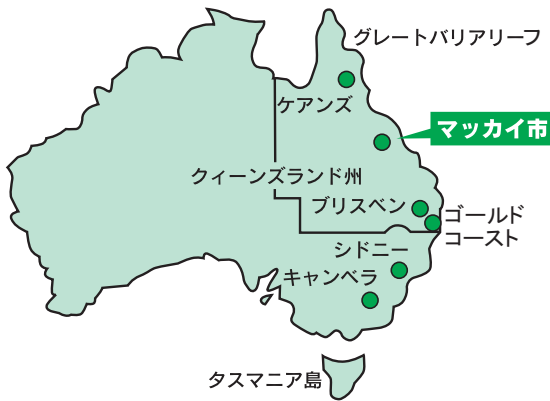
— 松浦市・マッカイ市姉妹都市提携 25周年 —

25周年を迎えた松浦市とオーストラリア・マッカイ市との姉妹都市交流。これまで多くの市民の皆さんに支えられ、両市の友好関係を続けることができました。マッカイ市との交流のあゆみや現在取り組んでいる交流の内容をご紹介します。



## 《マッカイ市との姉妹都市交流のあゆみ》

- 1988年（昭和63年）7月  
岩佐市長、下條議長両氏が長崎県民オーストラリア友好親善団員としてマッカイ市を表敬訪問
- 1989年（平成元年）3月  
松浦港開港記念式典にマッカイ市長を招待
- 1989年（平成元年）6月  
九州電力（株）松浦発電所1号機運転開始
- 1989年（平成元年）7月（写真①）  
第1回松浦市民親善訪問団（62人）を派遣
- 1989年（平成元年）7月（写真②）  
マッカイ市で姉妹都市締結に調印
- 1990年（平成2年）2月  
カーラ・ステインソンさん松浦高校留学
- 1990年（平成2年）5月（写真③）  
松浦市国際親善協会発足
- 1990年（平成2年）6月  
電源開発（株）松浦火力発電所1号機運転開始
- 1990年（平成2年）9月  
第1回マッカイ市親善訪問団（20人）を受け入れ
- 1991年（平成3年）5月  
マッカイ市姉妹の都市委員長マーク・レイランドさんを招へい
- 1991年（平成3年）10月  
第1回マッカイ市青少年使節団（14人）を受け入れ



オーストラリアは世界でも屈指の石炭産出国です。石炭は赤道を越え、松浦火力発電所へ運ばれ燃料として使用されます。  
 この石炭が縁となり、積出港の近くに位置するマッカイ市と姉妹都市提携が結ばれました。

マッカイ市との出会い



オーストラリア有数のサトウキビ産地であるマッカイ市は「シユガーシティー」と呼ばれ、市の経済を支えているものの一つがサトウキビの栽培とその加工です。

「マッカイ」という地名は、1860年にこの地方を発見したスコットランド出身の船長ジョン・マッカイの名から名付けられました。

マッカイ市は、オーストラリアのクィーンズランド州の北東部に位置する都市です。

姉妹都市の締結を行った当時は人口約2万3千人、面積35平方キロメートルだったマッカイ市は、平成6年4月に隣接するパイオニア・シャイアと合併、平成20年3月にミラー・シャイア、サリーナ・シャイアと合併し、現在は人口約12万2千人、面積7,622平方キロメートルとなっています。

マッカイ市はどんなまち？



- ⑥ 2014年(平成26年)7月(写真⑥) 姉妹都市提携25周年 南洋杉の苗25本をマッカイ市の植物園で記念植樹
- ⑤ 2009年(平成21年)7月 姉妹都市提携20周年 松実会による琴と尺八の演奏披露
- ④ 1992年(平成4年)7月 第1回松浦市青少年親善使節団(17人を派遣)
- 1994年(平成6年)8月(写真④) 姉妹都市提携5周年 シユガータイム・フェスティバルにて松浦龍王太鼓を披露
- 1995年(平成7年)10月(写真⑤) マッカイの地元バンド「ハラバル」が倭寇まつりのステージで演奏を披露
- 1997年(平成9年)7月 電源開発(株)松浦火力発電所2号機運転開始
- 1999年(平成11年)7月 姉妹都市提携10周年
- 2004年(平成16年)7月 姉妹都市提携15周年
- マッカイ市の植物園内の松浦ガーデンで松実会による琴と尺八の演奏披露
- 2009年(平成21年)7月 姉妹都市提携20周年 Skape(スカイプ) 交信
- 2009年(平成21年)11月 マッカイ・松浦姉妹都市提携20周年記念式典
- 2012年(平成24年)9月 第1回松浦・マッカイ・ビルモロイ杯 Englishスピーチコンテスト開催